

「安達太良山山行報告」

(山域) 奥羽山脈 (コース) 奥岳～くろがね小屋(泊)～山頂～五葉松平～奥岳

(日時) 2020年3月12日(木)～13日(金) (天候) 晴れ (参加者) 秋山(CL)、勝田

(行程) 1日目 成田(06:00)～(10:00)奥岳 P(10:30)～勢至平分岐(12:30)

～くろがね小屋(13:10)

2日目 くろがね小屋(07:50)～峰の辻(08:20)～沼尻分岐(08:45)

～頂上(09:10)～五葉松平(10:25)～奥岳 P(11:20)



◎その他情報

○くろがね小屋：一泊二食 6600+暖房費 400 円。

お風呂 20:30 まで(夜間、朝利用不可。シャンプー、石鹸使用不可)

17:30 夕食 06:30 朝食 08:00 チェックアウト

水:風呂脱衣所の蛇口から お湯:朝食後にポットで出る

1階コンセント無料使用可(発電機稼働後)

○岳の湯：350 円。石鹸、ドライヤー有り。○成駒：ソースカツ丼(ローズ)1300 円。

(山行報告)

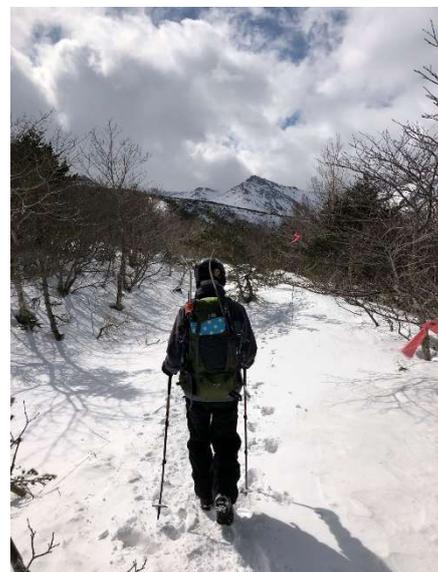
2月の山行でお会いしたKさんと安達太良山へ行こうと意気投合し、自分の休みとKさんの都合の合う日を決めて、平日の泊まり山行として初めて公募してみた。

結果は残念ながら参加者無しであったが、「行きたかったけど日程が…」というメールを何人からか頂き、興味を持ってくださった方が居たんだと嬉しくなった。

予報では1日目は風が強く午後は若干弱まり、2日目は更に弱まりそうな状況であった。

あだたらスキー場に着きくろがね小屋宿泊者専用の駐車場(スキー客駐車場の手前の旧料金所小屋の辺り)に車を止めて準備する。

それほど風に当たらないが、上空はスキー場方向から物凄い勢いで雲が流れていて、風の強さを物語っていた。





スキー場脇を歩くと路面が凍結しており K さんがアイゼンを着けようと言ってくれた。

旧道に入ると凍結は少ないが、道はしっかり締まっていてアイゼンが安心して歩かせてくれた。

八の字を過ぎて緩くなってくると勢至平だ。

辺りが開けて陽射しを受けるが、雲に隠れたり顔を出したり忙しく、時々強い風にも晒された。

勢至平をまっすぐ歩いていき、左に曲がっていくとく

ろがね小屋が見えてきた。

以前秋に訪れたが、右側斜面の紅葉がとても綺麗で感動した記憶が蘇った。

今日は白い景色の中に黒っぽいくろがね小屋が有って、これも映えて良いなと思った。

小屋に着くとお互い特に確認もなく荷を解いた。そうだ今日は風が強くて山頂は厳しいだろうと暗黙の了解だった。

部屋を教えて貰い 2 階へ上がると、広い角部屋には布団が 2 つ準備されていた。今日は快適に部屋を使える様だ。

ザックから例のブツを取り出し 1 階の窓際を陣取りプシュッとやる。今日は大して歩いてないのにご褒美と言っては怒られそう。更に焼酎を少し飲んだ後温泉に入った。

お風呂は内湯のみだが、源泉かけ流しのお湯は湯の花が舞い硫黄の匂いも抜群だ。あ～これぞ温泉♪堪らんたまらん。

お風呂を上がったらまた飲み直し、暫くすると夕食の声が掛かった。

メニューはお決まりのカレーだ！YAMAHACK の 2019 年美味しい夕食グランプリ 2 位を取ったカレーはスパイシーで美味♪更におかわり自由というから嬉しい。

お腹一杯になったら睡魔が襲ってきて、そのまま布団に潜り込んでしまった。

夜 20:00 過ぎに K さんが起き、自分も目が覚めた。お風呂が 20:30 までしか入れないのだが、



この時間に目覚めたのは奇跡、直ぐにお風呂へと向かった。

身体を温めて再び布団へ入る。21 時消灯で、翌朝は 6:30 朝食だからタツプリと眠れる。

翌朝 6 時前に目が覚めた。昨日の宿泊者は 4 名だけだった。小屋番さんと話したら新型コロナの影響でキャンセルも多いそう。山では無縁と思えたが、登山口までの交通機関がバスやタクシーだったらと思うと領けた。

朝食を待つ間、外に出て鉄山を見上げるとモルゲンロートができており、雲一つない空には月も顔を出していた。天気は良さそうで期待が出来る。

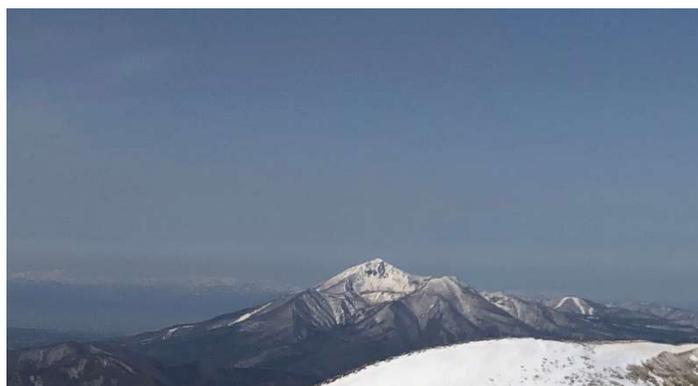
朝食を食べ準備を済ませて小屋からスタートする。小屋番さんの話しでは風はあるけど今週で一番いい日だよとのこと。



時々強い風に煽られたり、急斜を慎重に歩きながら山頂下まで進んだ。

風が強いのでザックを岩陰に置いて空身で頂上へ向かう。

鎖を掴んで上がると小さい祠がある。やった一着いた〜と岩陰から身体を出すとまた爆風の餌食となった。風から身を守りながら景色を眺める。遠くまで綺麗に見えるが、相変わらずの山座同定力が残念でならない。



若い男性はアイゼンも着けず、冬靴も履かずに上がって来て驚いた。

他にもノーアイゼンで登ってくる人もいれば、スノーシューで上がって来る人もいて様々だった。

その後順調に高度を落としてリフトトップまで来たが、周りには雪は殆ど無かった。



なるほど峰の辻まで余り風も受けずに来れた。Kさんと相談し沼尻分岐へ向かい、風が強かったら戻って来ようと決めた。

比較的楽に進んできたが、稜線に出た瞬間だ！我々に爆風が襲いかかってきた。

風上を向くと息が出来ないし、身体も風上に預ける程だ。何とか数枚の写真を撮り、頂上へ向かい牛の背を歩いて行く。



しかし先日登った磐梯山は近くにドンッと鎮座していた。

磐梯様はやっぱりカッコいい！！また行きたくなってしまった。

証拠写真を撮って戻り、さてあとはもう降るだけだ。

薬師岳へ向かうと数人とすれ違った。

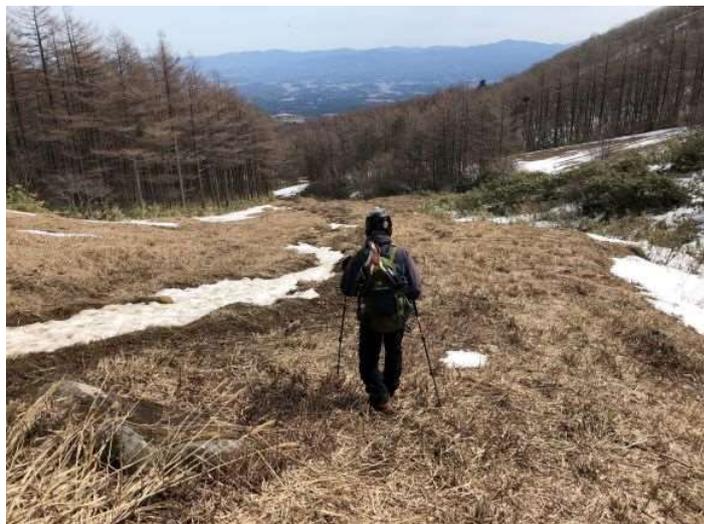


3月中旬でこの状況ではスキー場もたまったもんじゃないだろう。

雪山を今シーズンから始めた自分にとっても暖冬は今年だけにして頂きたいと願うばかりだ。

下山後は岳温泉まで降りて岳の湯で汗を流した。

さっぱりした後は斜向かいにある成駒さんへ入った。以前の記録を拝見していたが実際のソースカツ丼を目の前にすると迫力があつた。



ついさっき汗を流した筈が、何故かまた汗を掻きながら飯を食っていた。Kさんからお裾分けを貰い、それもしっかり平らげた。

身も心も大満足となり車を走らせた。千葉に向かうにつれ気温も上がっていった。この日千葉は20度近くまで上がったようだった。

今回は念願のくろがね小屋に泊まり、お風呂と名物カレーを堪能できた。

更には天気にも恵まれ頂上を踏んで良い景色も望めて最高だった。

雪山経験の少ない自分に同行して頂いたKさんには大感謝。

またご一緒して頂けたら嬉しい。



記録 秋山